

今こそ「お父さん(お母さん・保護者)」の出番です！ 《意欲を育てる子育てアドバイス》

本日は「こどものもり」へようこそお出でくださいました。

2018年6月

子どもは今、社会で必要とされる大人に育っていく為の基礎訓練中です。

いつも仕事に忙しいお父さん(保護者)でしょうが、幼い子どもが一人前の大人に育っていられるように温かで適切なアドバイスをよろしくお願いいたします。

親子の絆が深まり、尊敬される大人になる為の心得です。すてきな子育てに励んでいただければと願っています。



子育てのヒント・その1

子どもは、親の姿をモデルとして育てていることを自覚しておきましょう！

子どもにとって生まれて最初に出会った親をモデルとして、その姿を真似しています。

毎日の何気ない言葉の使い方・動き方・歩き方や食べ方等を見て、何の疑いも持たずに見ていることを自覚しておきましょう。更には良くも悪くも子どもは大人のDNAを受け継いでいます。

社会人としてのマナーにふさわしい魅力的な姿を子どもに伝えていきたいものですね！

子育てのヒント・その2

「いいところを褒めて育てる！」 親の心持ちが子どものやる気を育てます！

子どもは大人の何気ない言葉がけ一つでやる気になったり、無気力になったりしてしまうことを覚えておきましょう。やる気になる言葉かけ「いいね！」「すごいね！」「よくできたね！」と「肯定的な言葉」を言われた子は、うれしくなって更に褒めてもらおうとして、進んでいい子になる気持ちを持つようになります。

但し、励ますつもりで、安易に「ガンバレ！」「どうして出来ないの？」といった親の勝手な思いで発した言葉が、逆に子どものプレッシャーになる事もあることを覚えておきましょう！

(まだやろうとする気持ちになっていない時は特に負担に感じてしまう事となります。)

子育てのヒント・その3

心と体の安定には、親子のスキンシップ(愛着形成)が最高です！

子どもとの関係に違和感やうまくいっていないと思っていたら、すぐに子どもとじゃれあって遊んでみましょう！くすぐりあったり、抱っこし合ったり、追いかけてっこをしたり、時間がない時はすれ違う時に触ったり、頭を撫でてみるなど、ちょっとしたことでかまいません。触れ合うことであればどんなことでもいいのです。日頃から抱っこしたり、手をつないで散歩したり、ベビーマッサージをしてあげたり、そういうことに気を付けている親子は、おだやかで、わだかまりのない気持ちと、他への思いやりの気持ちの持てる子に育っていきます。

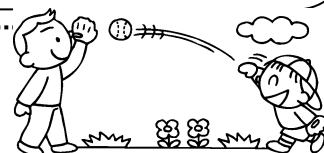
子育てのヒント・その4

「ありがとう」は魔法の言葉。「他を思いやる子」を育てていきましょう。

愛してあげれば、子どもは人を愛する事を学んでいきます。

「うれしい！」「ありがとう！」「いい子でうれしいね！」とたくさんのうれしさを伝えてあげる事が大切です。子どもが自分なりにお手伝いをしてくれたとき(オモチャやお洗濯物の片付け・食事にまつわる箸やお茶碗などの準備や片付け・ペットや生き物の世話・お年寄りや赤ちゃんの世話など)さりげなくしてくれた時は、ぜひとも「ありがとう！」「とても助かる！」とニコニコ笑顔で褒めてあげましょう。

人から褒められて育った子は、他の人にも喜んでお手伝いのできる子に育っていきます。もし(人)から愛されずに(褒められずに)育った子は、大人になっても人を温かく愛していく方法が解らずにギクシャクしてしまい、仲間作りがうまくいかなる場合がありますので。



子育てのヒント・その5

お母さんが楽しく子育てしていくには、「お父さん」の応援が一番の支えです。

子どもが安定して育っていく為には、お母さんの心持が穏やかでなくては出来ません。

今、日本のお母さんの65%が子育てに不安を感じ、育児ノイローゼやストレスを感じているといわれています。その解決に最も良い方法は「お父さんの育児支援」です。

「家族が温かな生活をしていく」「社会のマナーや常識を大切にしていく」「自分勝手になく、お互いに助け合ったり、支えあう生活」等を教えていくのは「やっぱりお父さんの役目」です。社会で必要とされる子を目指し、当園の願っている子育ての目標「誰からも愛される『光の子』」に向けて、家族みんなが温かな気持ちで暮らしていった欲しいと願っています。

